石川社保協ニュース

2020年5月20日
920-0848　金沢市京町24-14　　℡076-253-1636　F076-253-1459
ﾒｰﾙ：kaigo@imir.jp　　http://www.imir.jp/syahokyo/index.htm

新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度年収を確保し、安全・安心の医療・介護を存続していくために公的資金の導入を求める

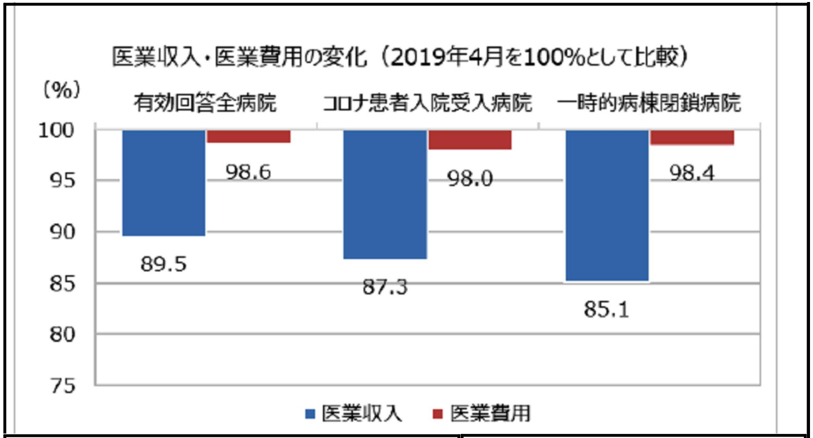
団体要請署名行動について記者会見実施する！

新型コロナウイルスの影響から医療機関・介護事業所を守るため
安心・安全な医療と介護を
維持・存続するための署名

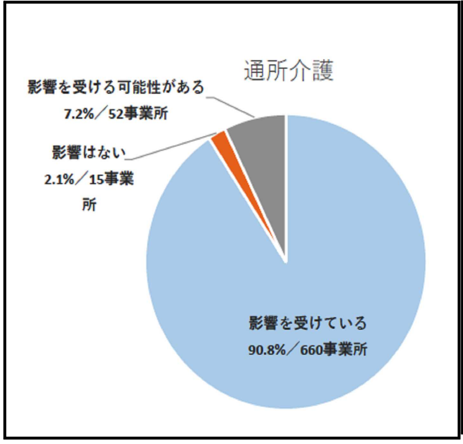
現在、新型ウイルスの感染の広がりによって、医療機関は、感染対策に奔走しています。介護事業所は、感染におびえながら、介護を提供しています。医療機関は、①すべての医療機関が、患者さんが感染を恐れ、受診を控えたことにより、患者減となっています。②コロナ患者の受け入れベッドを空けておく。③医師・看護師の特別の体制をとる。④一般診療、入院患者数の縮小する。⑤手術や検査、健康診断の先延ばしやキャンセル等がおきています。　介護事業所は、感染に恐れた利用者さんのキャンセルによる利用者減、新規の入所者さんの減が起きています。これらのことによって、医療機関も介護事業所も大幅な収入減となっています。

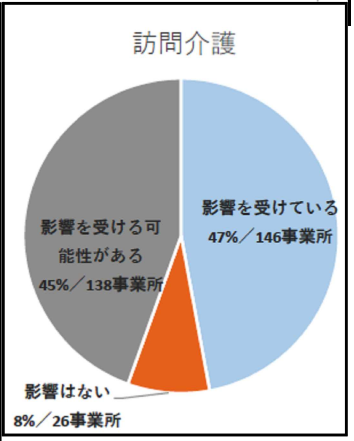
そうした状況の中で社保協は県内の医療機関、介護事業所が事業を継続して、安全・安心の医療介護を継続していくために、国に向けて新たな助成を求める団体署名活動を行っています。

今日、そのことについての記者会見を実施しました。



一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本医療法人協会では、新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況を把握する事を目的としてアンケート調査を実施した。結果は左記の通り、全病院で収入が前年比89.5%でした。





介護事業所でも深刻な影響があり、全国介護事業所連盟の調査によると業種別では通所介護では90%の事業所が「影響あった」、訪問介護では47%の事業所が「影響あった」と答えています。

電話無料相談

<開催日時>

5月23日（土）10:00～18:00

☎ 0120-378-060

☆☆☆